

# 東日本大震災での津波の被害像と 今後の減災への課題



東北大学 大学院工学研究科附属  
災害制御研究センター

今村 文彦

## アブストラクト

2011年3月11日、宮城県沖を震源としたマグニチュード9の巨大地震および津波が発生した。東北地方太平洋沖地震と気象庁により命名され、我が国での歴史上最大の規模であり、沿岸各地で壊滅的な被害を受けた。今回の大震災を人的・物的被害の面から考えると、津波による被害が圧倒的に広大かつ甚大であった。本講演では、現在までの調査で判明されつつある津波被害の実態と多くの教訓を紹介したい。また、各地域での以前の津波規模や被害の評価、当時の気象庁による津波警報と避難の状況などを説明する。これらの基礎である想定津波被害の手法や数値シミュレーション方法などを紹介しながら、次世代スパコンなどを利用し、今後の津波減災への取組への課題や展望を議論したい。

## 講演者プロフィール

### ◆ 略歴

1989年3月 東北大学大学院工学研究科博士後期課程修了  
1989年4月 東北大学工学部土木工学科助手  
1992年12月 東北大学大学院工学研究科附属災害制御研究センター助教授  
1993年8月 アジア工科大学院助教授（派遣、2年間）  
1997年6月 京都大学客員助教授防災研究所巨大災害研究センター（併任、3年間）  
2000年8月 同 教授

### ◆ 研究分野、研究テーマ

津波工学、自然災害科学、流体数値シミュレーション

### ◆ その他（所属学会、受賞歴、著書など）

・所属学会： 土木学会、日本災害学会、日本地震学会、米国地球物理学会  
・受賞など： The 1999 Coastal Engineering Journal Award, European Commission for Research、日経サイエンス、ビジュアル・サイエンス・フェスタ賞(2001)、The finalist of The 2003 Descartes Prize Awards、土木学会論文賞(2010)、第1回 WNI 気象文化大賞金賞(2010)  
・主な著書： 津波の事典(朝倉出版)、防災教育の展開(東信堂)、The Sea: Tsunamis, (Harvard Univ.Press)